



2025 年 11 月 4 日

各位

東京建物株式会社

GRESB リアルエステイト評価 最高位「5 スター」を獲得

「5 スター」の獲得は 9 年連続

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 小澤 克人、以下「東京建物」）は、2025 年実施の「GRESB リアルエステイト評価」に参加し、「GRESB スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」において、9 年連続で最高位の「5 スター」を獲得しましたので、お知らせします。



G R E S B
R E A L E S T A T E
★ ★ ★ ★ ★ 2025

● 評価結果について

東京建物は 2013 年より GRESB に毎年参加し、継続的な評価結果の向上を目指しています。2025 年も不動産会社・ファンドを対象としてサステナビリティへの取り組みを評価する「GRESB リアルエステイト評価」に参加し、既存物件運用に関する評価である「GRESB スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」において、不動産デベロッパーとしては唯一 9 年連続で、最高位評価である「5 スター」を獲得しました。

● GRESB および GRESB 評価の概要

GRESB は、不動産会社・ファンドの環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る年次のベンチマーク評価およびそれを運営する組織の名称であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設されました。

投資先の選定や投資先との対話に GRESB のデータを活用する投資家メンバーは、現在約 150 機関に上り、日本でも、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、複数の機関が GRESB 評価結果を利用しています。2025 年に実施された GRESB リアルエステイト評価には、世界で 2,382 の上場・非上場の不動産会社・ファンドが参加しました。

GRESB 公式サイト：<https://www.gresb.com/nl-en/>

● 東京建物グループのサステナビリティへの取り組み

東京建物グループは、2030 年を見据えた長期ビジョン「次世代デベロッパーへ」を策定しており、事業を通じて「社会課題の解決」と「企業としての成長」をより高い次元で両立することで、すべてのステークホルダーにとっての「いい会社」を目指しています。特に、気候変動は最も重要な社会課題の一つであり、脱炭素社会の実現に貢献することは社会的使命であるとの認識のもと、脱炭素社会の実現に向けて温室効果ガス排出削減の中長期目標を掲げており、CO2 排出量^{※1}について、2030 年度までに Scope1・2 は 46.2%削減（2019 年度比）、Scope3 は 40%削減（2019 年度比）、2050 年度までに Scope1・2・3 についてネットゼロを目指しています。これらの目標達成に向け、ZEB・ZEH の開発推進、再生可能エネルギー^{※2}の導入、グリーンビルディング認証^{※3}の取得など、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進し、引き続き持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

東京建物グループのサステナビリティ：<https://tatemono.com/sustainability/>

※1 Scope1：東京建物グループでの燃料使用による直接排出、Scope2：東京建物グループが購入した電気・熱の使用による間接排出、Scope3：その他事業活動にともなう間接排出（2030 年度目標の対象は、「カテゴリ 11：販売した製品の使用」および「カテゴリ 13：リース資産（下流）」）

※2 非化石証書の活用を含みます。

※3 グリーンビルディング認証とは、建設や運営にかかるエネルギーや水使用量の削減、施設の緑化など、建物全体の環境性能が高まるよう最大限配慮して設計された建築物を客観的に評価する指標をいいます。日本では、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）が実施する「DBJ Green Building 認証」制度や、国土交通省が支援する認証制度で、建築物の環境性能や快適性などさまざまな側面から評価・認証を行う「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）」、建築物の省エネルギー性能を表示する第三者認証制度「BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）」等の認証プログラムがあります。

以上